芝罘向
油　一百〇二圓五十錢
豆　行　（中歷三月十九日）
…六吊百平六三吊二百
…吊五百四百文平五吊
…共上車三十餘緬
…共來七十餘緬
…六吊九百平六吊八百

一 塵紙　一〆　一圓七十錢
一 七九半紙　全　一圓八十錢
一 連紙　一連　一圓
一 フールスカップ　全　四圓
一 中判洋紙　全　二圓
一 半紙美野紙　百枚　二十錢
一 卷紙　四十枚續　十四錢

一 暖爐　……
一 全三組道具　一圓五十錢以上一圓七十錢
一 椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一 簞笥　三十圓以上三十五圓
一 卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一 卓子掛　六圓以上十二圓
一 厨房用戶棚　七圓五十錢以上十圓

一 白毛布　二枚綴　八圓以上十五圓
一 縞毛布　一枚モノ　四圓以上六圓五十錢
一 長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一 箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一 宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

$4.80 per 6 months.
Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Telephone No. 29. *Newchwang.*

廣告料　半ヶ月以上　銀十五仙乃至十仙
一ヶ月以上
一長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番 支配人室　百八番 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

山東丸　五月三日出帆　大沽、芝罘、門司、神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話廿六番）

瀛船出帆廣告

摩耶山丸　五月朔日門司、神戶、大坂行
日海丸　五月三日門司行
相模丸　五月八日出帆　太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戶行
金龍丸、大龍丸、國見丸　龍口定期
萬成源丸　臨時芝罘定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社 營口瀛船出帆廣告

潮洲丸　入港乘客謝絕
汕頭丸　五月一日入港　四日出帆門司、神戶行
代理店　ブッシュ兄弟商會　東營口公園地橫　遠來洋行（電話二十三）

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需　國本主人啓

宅洋行

弊店卸賣の綿絲、粗布、綿絲布、荷花標布、南洋緞子、紋緞子、絨布、手巾、花巾、洋胰、火柴、鐘表、等皆確實廉價且信義敏活を以て商取引の秘契となし爰に名聲大に擧るに至れり曩に特に官准を得て火車營業を開設したるを以て兩者相俟て益顧客の便利を謀り彌我商の主義を貫徹せんとを期す殊に華客引接の際は別に華人宋厚田氏等あり細心懇待大に商議を便ならしめんとす乞ふ中外士商來て其詭ならざるを認め安意賜顧は幸甚
開設考爺閣街同盛德院內
電話（店一八三番　住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜業經有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週遍知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

保裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撻利）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）淸香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船

摩耶山丸　頼朝丸
專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東淸鐵路公司運送貨物自牛家屯大𣷹至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本淸酒一概俱全另有淸國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
電話　第六十六號　第九十一號

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

自造

煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子　加州組　電話八十六番

發賣

料木　杆子　一丈　一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切卸賣
日本酒春駒一手販賣
營口元神廟街　撈荷洋行（電話一四七番）

生徒募集

營口瀛華實學院招入學生

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し屢に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口　瀛華實學院

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便玆因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生倍額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

新荷着

▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲疊

喜久洋行
營口永世街八十號
（電話百五十二番）

鐵道遼河 裕和盛運輸局

在東營口西北街旗昌洋行對門
（電話八十一號）

啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

税關手續

一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣

弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尙其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇　英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）　小島榮歲

丸重洋行 貨物運輸

啓者本行前在營口躉賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東淸鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話　營口 拾八番　牛家屯 四拾六番

材木販賣 荒物

秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃開設　營口南永世街北斗洋行
西櫃開設　營口西北街塘子胡同內

上海 中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專館之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

雜報

●省城管見（四）

（在奉天特別通信員）

奉天警務學堂

奉天現時の學堂中尤も整備せるを警務學堂とす小東邊門外廣潤の地に在り屋舍宏大舊兵營にして陸軍小學堂と脊を合はす總辨は遼陽城守備德祜にして提調は北洋警務學堂出身の孫瀛なり總教習は忠芳、學科教習は德銓、興貴、世榮にして操練教習を莊隆弟と云ふ英德興世の四氏は北京初期の警務留學生にして三年間日本に於て警察監獄學を專習したるもの莊は江南將辨學堂出身なりと其教授法等清國人の學堂としては實に間然する所なし學級は初等科三個月中等科四個月高等科一個月にして速成以て警察官を養成せんとす現時清國として速成の必要あらむ唯た其規模の小なるは嘆すへし現在學生甲班五十三名にして乙班六十三名に過ぎす之れ皆な初等科學生にして甲班は清曆本月を以て卒業し乙班は來月を以て卒業すへしと云ふ教課目は外人警察、警務要書、警察要論、衛生警察法以上每日一時間、操練每日二時間にして教習の伎倆と勉勵は確かに尙多數の學生を收容して餘力あるへきに拘らす警察の改正に熱心なりと云ふ張警察局總辨の何か爲めに之か大々的擴張を試みさるかを怪しむ

己に本學堂初等科を卒業して其職に就くもの二十八名あり其中五名に昌圖知府査富琖に招かれて同地に去り今當地に在るもの二十三名特に之を舊來の巡勇と分ちて警士と稱し服裝亦た洋裝の規律正しく嶄然として面目を異にす余は現時當地に於ける警務學堂の甚た整備せると共に尙一層の擴張を希望し而して新教育を受けたる規律ある警士の多數が城內外警察の任に就くの日一日も早やからんことを切望して止まさる也

官制の改正

當地淸國官場の由來形式を重じて實蹟の之に伴はさるは己報の如し新政自强主權保持表はに之を標榜して以て一時を糊塗し以て中外の耳目を眩せんとする裱糊匠的政治はけだし清人獨特の技能なるべし昨年赴任直ちに五部を裁撤して財政商工學政警務等の各局を新設し大に新政を布きし体裁を裝いし趙將軍は今回また彼等の所謂百尺竿頭一歩を進めて官制形式上の大改正大擴張大完備を試みる由にて已に法案は完成に近しと則ち各局を拉して奉天官場の各主務省となし其上に最高樞密院を新設して奉天政治上の諮詢に應せしめ且つ左右參議を置きて將軍を補佐せしむる計畫なりと斯くて龍冠鳳衣大に威張らんとする否な斯くて天下の政治を糊塗せんとする否な稍や動搖の廣ある椅子を飾らんとする甚だ可なるべきも政治畢竟如斯愚に近き形式の改正を以て完整さるゝものにあらず要は實蹟實功を擧ぐるに在り舊時の五部必ずしも不可ならず現在の官衙制亦た可なり唯だ奉天官場今日の弊として最も速かに改正すべきは將軍の神經質なり幕僚の小刀細工なり打破すべきは形式的其新政なるかな

奉天の農政

近時奉天に於て吾人の献待し期待し刮目して其成功を待つべきものは農政なるかなけだし局其人を得たるを以てなり前便所報の邦人の農政顧問は淸國官場に於て雇傭したるにあらず趙將軍の懇談により兒玉大將の厚意により清國官場の客賓として招聘せられたるものゝ由即ち新渡戶農學博士及び橫山農學士來奉以來將軍は之を交涉局內の一家屋に延き優待して曰く農政上の諮詢を爲しつゝありて兩氏の注意勸告等は將軍に於て喜んで之を容れ着々各種の準備に着手しつゝありと而して先づ第一着に省城南渾河堡の地をトして一大農作試驗場を設置し各種農產物の試作を爲す計畫にて已に種物等は本邦より來着したりと聞く尤も新渡戶博士は京都大學の講坐を永く空くする能はざるを以て五月初旬一應歸朝さるゝ由なれども橫山農學士は依然滯留せらるべしといふ

●滿洲昌圖公司（上）

滿洲昌圖公司は今次の戰役後、滿洲に於て邦人の設立せし諸會社中に在り最も活躍せる者にして從ふて世間種々の臆測を逞ふし暗に斯界の怪物を以て指目す、不知ず昌圖公司は果して一種不可解の怪物會社なる乎、今ま則ち其の沿革を記述して社會に發表するも蓋し多少の裨益なきに非るへし

▲發起　昌圖公司の設立發起者は松本龜太郎併に柏原文太郎の兩氏なるか先是松本氏の未た第六兵站司令部（普蘭店）に陸軍通譯官を以て勤務に從事するや彼は日淸人合同の下に一大商業團体を組織し東淸鐵道を利用して滿洲の商業に一大改命を企圖するの抱負あり度々親近の支那人に意を示して暗に其の成否を試みたるに一度として將た一人として其の成立を疑ふ者非す於是乎彼は意中に深く決する所あり終に昨三十八年十二月末を以て通譯官を辭職して公然其の組織の運動に着手せり

▲名目　當時の名稱は滿洲通商公司にして資金も五十萬圓なりしか彼の辭職後、運動上の便宜の爲に昌圖に至り北は法庫門より南は海城に至る各地の淸人を招集し其の先きに談合せる通商公司の設立に付き最後の確答求るや彼等は一議に及はす贊成の意を表したるのみならす寧ろ通商公司の規模の小なるを主張し五十萬圓は我々一座の十二名に於て悉皆引受くれは更に五十萬圓を增加し其の增加株は日本人側に於て又凡て引受けられ度しと申出たり則ち彼は意表の成蹟に喜び固より一言なく其議に贊成し更に資本金を百萬圓に增加し新に增加せし五十万圓は日本人側に於て引受く事を承諾して會々舊友柏原文太郎氏の視察に奉天に在るを幸に則ち招きて委細を談し其贊成を得て共に通商公司設立の發起者となり此に通商司の設立確定するに至れり時に明治卅九年一月なり、蓋し日本人側の五十万圓は我か勸業銀行に運動して調達する彼等兩人の意向にて在りたる也

▲附屬　斯て滿洲通商公司の設立は何等の故障も無く進行決定したるか彼等は順風に乘して更に通商公司の附屬事業として主に昌圖より蒙古に至る馬車輸送の營業を目的に一の會社を設立せんと欲し假に資本金を十万圓に限定し其の名稱は昌圖株式會社と號し、再ひ運動を開始せしに仕合せにも最初に劣らぬ上景氣にて忽にして豫定の株主を得たるのみならす、申込益々增加して底止する所を知らす遂に全株を支那人の所有と爲すも尙ほ足らさるの狀を呈せり於是乎止むなく更に通商公司の例に倣ひ資本金を增加する事となし則ち十万圓を更めて三十万圓とし其半額を支那人側に於て更に半額を日本人側に於て引受け拂込む事となせり實に又た本年一月末の事なりとす

▲認可　斯て通商公司も昌圖株式會社も豫想以上の景氣を以て設立決定せしを以て共に定款を添へ一面昌圖軍政署に屆出ると共に一面知府に屆出てゝ其の營業の認可を得而して更に其の認可を得たる者を關東總督府に提出して又た其の認可を得たり則ち總督府の認可は宛も語可の認可となれるものか

陸軍大臣寺內正毅氏

●鐵嶺花信

鐵嶺花信など〻見出しに置きたりとて粹㨾營口の其れと早合點して飛んだ謀反心を起し給ふべからず昨鐵嶺來信に云ふ久しく冬枯れの裡に葬られたる寂寞の北滿洲も一陽來復と共に春氣漸く動き山は紫に野は青に水亦緩く流れて駘蕩の色眞に掬するに堪へたり城東約三里なる熊官屯（砲兵隊宿營地）保安寺の杏花刻正に滿開爛漫として霞の如く雲の如く日に軍人軍族の遠乘者極めて多しとコヘ白晝白馬を沒趣味なる營山に驅るが如き粹㨾連には些と解し兼ぬるお宗旨違ひの風流談ならんか

廣告

齒ノ衛生治療ハ一日モ等閑ニ附スベカラズ然ルニ當營口ニ良齒科醫ナキハ予輩ノ常ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ二三有志者相謀リ在天津ノ該科名醫田添豊三君ノ出張ヲ請ヒ河岸通リ元髙田洋行跡ニ於テ本日ヨリ約三週間治療ニ從事セラルヽ事トナレリ君ハ夙ニ天津佛租界ニ於テ開業シ內外人ノ信用ヲ博セラル其治術ノ巧否今復之ヲ贊セズ齒患ニ艱メル諸君及齒ノ衛生ヲ重セラルヽ諸君ハ此ノ好機ヲ逸セズ陸續君ガ治療ヲ受ケラレンコトヲ望ム

四月十二日

營口有志者白

●●廣島縣人親睦會●●

候は春光燦として邦土には今や百花の爛熳たる、滿洲に在て觀るに由なく終日俗塵萬丈の巷に馳驅し役々勞作するもの是れを在滿の人に於て見る此際此時吾縣人一堂に會し以て親睦の宴を張り疲憊せる腦底に慰藉を促すと共に已に現下に迫れる平和の戰鬪に對する善後の策を研究するの又從事に非さるを惟ひ玆に此事あるを致す幸に我縣出身の志者て御參會あらんことを希望す

會場　營口河岸通リ日營ホテル

期日　五月七日午後四時

申込所　會場たる日營ホテル　永世街二本町　川本活版所

申期日　五月六日正午迄

會費　銀貳圓

但會費は申込の際持參の事

明治三十九年四月　日

發起人　一同

梅毒婦人科　外科胃腸病　專門日本醫院

全身魔醉局處魔醉新器械無痛手術

輕便入院　永世街警務課ノ前

社告

今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街　穗洋行

遼陽西門外　芳文館

奉天大南門內景祐宮胡同　本社支局

鐵嶺南門內　東雙泰

安東縣新市街　東華公司

新民府　泰東公司

●●出張所閉鎖廣告●●

清酒商標　鳳凰正宗

客年弊店開設以來各位より多大の御愛顧御引立を蒙り所員一同感謝之至りに奉存候以御陰此處に計畫通り全部賣捌濟と相成申候に付來る三日限り當出張所閉鎖店員一同引揚可申候右に就き一々參堂親しく御禮可申上筈之處乍略儀以紙上御禮旁〻閉鎖廣告候也

明治三十九年四月　日

營口元神廟街甲第二三四號

本辰　營口出張所

兼て各位より御愛顧を蒙り候清酒鳳凰正宗は今般當店に於て特約一手販賣致候間何卒倍舊の御引立の程奉希候也

明治三十九年四月　日

大連市信濃町

河又出張所　謹白

孔雀印　平野水

乳雀印平野水は既に製品相整へ申候に付季節も切迫仕候得者續々御注文の程願上候也

製品は一合二合四合三種有之御好に應じ申候

大阪東梅田　合資會社　孔雀商會（電話東一四九〇）

大阪孔雀商會

和洋雜貨及紙類　大販賣

奉天城內鐘樓南大路西

千賀洋行（電　號）

開業　日華貿易兼運輸業

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候

元神廟街二四八號（電話局向）

月　日

義安公司

廣告

稅關手續

一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管
一、日本郵船部、回漕部
一、爲替附キ荷物ハ便利ヲ計リ可申候
一、引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候

市場北三階樓時計店ノ二階

宮原公司

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

（營口綏定門街 ブツシ商會東）

喜川鐵工場

高野孟矩法律事務所

大連市監部通二丁目五百廿五番地

但高野孟矩不在の節は辨護士戶口茂里代て事務を扱ふ

東京市京橋區南金六町十五番地

大阪市北區河內町一丁目六十七番地

追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱宇都宮神戶廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依賴に可應候

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲妊婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

一本院齒科開設（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

本行開設營口已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致僻行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也此啓

（雜貨商）（元神廟街）
天聖洋行
（電話三百十七番）

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、
一萬醬油、白米、上等鰹節
一罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盜、コノワタ、
一清酒澤龜特約並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、

其他日用品乾物雑貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度伏て奉願上候也

東營口永世街第廿八号
雜貨商　大原洋行

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）

着荷廣告

筑前博多單帶、全伊達卷、御召類、セル地、
ゴム引防水布外套、金庫、錫製品各種、
輕便水濾器械、洗桶、專賣特許米洗器、等勝手道具いろいろ
萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、

營口　加藤洋行（電話八十番）

四月十八日ヨリ仝廿八日マデ本社事務員仝診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候

明治生命保險株式會社牛荘代理店
加藤洋行

東營口西北街
裕和盛
電話八一番

東清鐵道　遼河　貨物運送業
雜貨商

新荷着
朝日ビール　日本酒澤の鶴
洋酒、食料品　和洋罐詰、食器
內外煙草、葉卷　エジプト、文具
化粧品、金物類　肥前白米、醬油
酢、木炭、其外色々
卸並に小賣

彩票
大連　鐵嶺　南洋　湖北
每月發賣

本店　長崎
支店　芝罘　鐵嶺　旅順　京城　仁川　木浦

東亞同文會發行

前清語學校長　中野二郎
同講師　縣文夫　合譯

露國大藏省編纂
滿洲通志

洋裝八百頁〇定價金貳圓八拾錢〇郵税　內地五拾錢　清韓卅五錢

特別割引（一千部ニ限リ金貳圓五十錢外ニ郵税）

精密滿洲地圖及重要統計表入

本書ハ露國前大藏大臣「ウヰツテ」氏ノ監督編纂ニ係リ露國滿洲經營唯一ノ典經ト稱セラル

本書ハ各種專門學者ノ調査研究ニ成リ材料豐富觀察周到叙說正確滿洲ノ情一讀炳然タリ

本書ハ滿洲ニ關スル多クノ著書中世界無比ノ良書トシテ政治家學者實業家ノ稱贊スル所也

發賣所　東京京橋銀座一丁目　大阪東區北久太郎町
大日本圖書株式會社

從來すき燒専門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理をも始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊びを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候

營口二本町
店主　田村瀧太郎
梅廼家

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南憲第三十六號
北斗洋行質屋部

第四六八　シュチンカタウラ　一枚
第三八二　中巾チリメンヒシコキ　一筋
第三九三　銀カワ時計　一個
第二八六　白米四斗俵　一俵
第四七六　サツマカスリ　一反
第三一九　十八金マカイ時計　一個
第四〇五　新ヌメシ　一反
第七六　朝日ビール　一折
第三〇四　コウモリカサ　一本
第二七五　ユカタ　一反

抽籤の結果左の番號當籤仕候間何時にても景品引替可申候

五月一日
翁亭

M. Iizuka,

CONTRACTOR,

ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.

MODERATE RATES.

No. 151 Yuwansinmiao

Ying Kow

和洋雜貨
盛進商行

新着
椅子　卓子。窓懸。
卓懸。花莚。マット。
油多加織。ビロードセン。

營口消防組合規約

第一條　本組合ハ營口旅館料理屋同業組合ヲ以テ消防組ヲ創立シ火災ヲ消防シ危害ヲ救援スルヲ目的トス

第二條　本事務所ハ當時旅館及ヒ料理店組合事務所ニ置ク

第三條　本組員ハ在留日本人中本組ノ趣旨ヲ賛同シ進ンデ加盟シタル者ヲ組員トシ消防員タラシムルコト

第四條　本組ニ左ノ役員ヲ置ク
一正取締　一名　一組頭　一名
一副取締　一名　一小頭　二名

第五條　正副取締ノ年限ハ滿一ケ年ト定メ再撰スルコトヲ得ル

第六條　正取締ハ本組ヲ代表シ本組一切ノ事務ヲ總理ス
副取締ハ正取締ノ代表ニ補助ス
組頭ハ正副取締ノ命ニ依リテ現場一切ノ職務ヲ分擔シ小頭ヲ指揮スルモノトス

第七條　本組ニ左ノ職員ヲ置ク
一筒先持　二名　一梯子持　四名
一纏持　二名　一刺叉　四名

第八條　本組小頭ハ現場ニ於テ消防ヲ指揮シ組員當時欠席員ノ有ル場合ハ正副取締ノ許可ヲ得テ職務ヲ變更スルヿアルベシ

第九條　出火警鐘ハ警務課司法部前ニ置ク
一警鐘心得
城內及牛家屯、河北停車場青堆子附近出火ノ際ハ三點打トシ〇―〇―〇
城外ハ總テ二點打ノヿ〇―〇
兇徒暴起其他非常ノ事變ヲ知リタル時〇―〇―〇―〇―〇―〇―〇―〇連打トス

第十條　第六條第七條規定ニ基キ警鐘アル時ハ軍政署司法部構內ニ來集シ當局者ノ指揮ヲ待テ各々準備スルモノトス

第十一條　出火現場ニハ軍政署ニ依頼シ無用ノ人ハ猥リニ本組員ノ外ハ出入ヲ堅ク禁スル者トス

第十二條　本組員ニシテ如何ナル事故生ス共現場鎮火迄ハ退場スルヿヲ得ズ
但正副取締ノ許可ヲ得タル上ハ此限ニアラズ

第十三條　本組員ニシテ現場ニ於テ猥リニ亂酒シ且ツ故意ヲ以テ爭鬪シ各自事務ニ怠惰シ不品行ノ行爲有ル場合ハ軍政署ヘ直ニ引渡スモノトス

第十四條　本組員ニシテ現場ニ於テ負傷及即死者等アル場合ハ直ニ治療ヲ施シ充分ノ補助ヲナスモノトス

第十五條　現場鎮火ト認メタル場合ハ正副取締ヨリ號笛ヲ以テ引揚ノ命トシ同時ニ散亂セズ組頭ノ指揮ニ隨テ整列セシムルモノトス

第十六條　引揚ノ場所ハ警務課司法部構內ニ於テ人員ヲ調査シ正副取締ノ命ニ依リ解散スルモノトス

第十七條　本組員ニシテ旅行且ツ移轉ヲナシタル場合ハ事務所ニ届出ルヿ

第十八條　本組員ニシテ平素不品行ノ行動ヲ爲シ本組員ノ体面ヲ汚スガ如キ事アル場合ハ本組員ヲ除名スルヿアルベシ

第十九條　本組員ハ各自門口ニ消防タルヿヲ一標札ヲ打附ケ置クヿトス

第二十條　本組ハ正副取締適當ト認メタル時機ニ於テ監督官廳ノ許可ヲ得テ消防演習ヲ爲スヿアルベシ

第二十一條　本組ニ業務記錄帳簿財産目錄組員姓名簿ヲ備フ

第二十二條　正副取締ハ名譽職トシ無報酬ト定メ事務所書記ハ有給ニシテ正副取締是ヲ定ム

第二十三條　本組員ヘ手當等ヲ給與スル場合ハ正副取締ノ認定ヲ要シタル上施行スル者トス
但シ本組ノ爲メ特ニ効勞ヲ奏シ火災ノ際豪膽ナル働ヲナシタルモノニハ特ニ本組合正副取締調査ノ上協議ヲナシ賞與ヲ與フルモノトス

第二十四條　本組職員ノ欠員アル場合ハ本組ニ於テ平素品行方正ニシテ役員タル資格ヲ有スル者ヘ正副取締ヨリ役職員ニ推選スルヿアルヘシ
但シ消防夫ノ欠員ヲ生ジタル場合ハ正副取締隨時加盟ヲ諾スルヿアルベシ

第二十五條　本組總會ハ半期每ニ開會ス
但シ正副取締ガ臨時總會ノ必要ト認メタル場合ヘ此限ニアラズ

第二十六條　營口ニ非常ノ場合ハ取締ヨリ組頭ニ命シ小頭及消防夫ハ應援スルヿアルベシ
但右ノ場合正副取締ヨリ指名スルヿアルベシ

右各條項ニ違背シタル者ハ本組規約ニ基キ除名スルコトアルベシ

正取締　齋藤富次郎
副取締　西崎金兵衛

追テ來ル五月四日出初式執行仕候

風景佳絕、旅館、料理、遊技完備

滿洲第一湯崗温泉

効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡

營口〇―大石橋〇―海城〇―□湯崗温泉全停車場―〇遼陽―〇奉天

大阪商船會社荷客取扱所
內外船舶代理傢貨借仲立　輸出入税関手續
解船人夫運搬請負
水陸輸送貨物仲次所　倉庫　諸品委託

瀛船出入案內
摩耶山丸　五月二日出帆　門司行
潮洲丸　本日入港豫定
汕頭丸　五月五日　門司、神戸行

御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尚御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

西北街
德重洋行

御料理

板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ旨トシ
雪月花ノ會席
打テ一圓ノ仕餘
ヘ御意ニ從ヒゲンシンビヨガイナンデモデス

まつのや

新來の姿等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます

まつのや藝妓　ふで
仝　松吉
仝　二〇か
義太夫　牛荘

御客樣方

歐米各國最新流行形
西海洋服店
水卅街一四一（森病院三軒目）
（電話百二十七號）

支那料理
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝恵

小說

新作小說 おとし胤（五十）　德田秋聲

怒れる獅子は、顫く小羊の前に立ツた。

海鹿子爵は、埃に塗れて汗ばんだ顔、爛つく眼、喘ぐ息。さも恐ろしげに兩人を睨めつけてゐる。氣が急くか、息が切れるか、唇ばかりむづ〳〵させて容易に口にさへ利かれぬのであツた。

熱田は、神經が敏い！　何んの爲に子爵が此處へ來たのか、また何んの爲に憤ツてゐるのか解らなかツたが、兎に角穏ならぬ子爵の氣組を見て取ツた。よも子爵が其處まで氣は廻るまいとは思ひながらも、自分の心の底の底を考へると、些か極が悪い。些か悄げて、頬に紅を潮すのであツた。

けれども、滿身才氣と機智とで固められた男である。ごぎまぎして、敵に内兜を見透されるやうなことはせぬ。

「や、何んですか。貴方も御散歩ですか。」

「散歩ではありません。」と無愛想に謂ツて、

「光、お前、此處に何を爲て居ツたのか。」と心の底の底まで見透すやうに、光の顔を見詰める。

光は、何んといふことは無く縮上ツて、頭も上らぬ、言も出ぬ。たゞ顔が赫々とする。

熱田は傍から、

「いや、何を爲とツたと謂ツて、たゞもうくだらん話。その何んでした、數馬君を見失ツたものですから、此處で待合はせて居ツたです。」

「然うでしたか。」と幾ら何んでも、無作法に熱田に噛付くことが出來なんだのか、極めて穏な調子だ。たゞ言が冷い。「數馬をお待合になツて居られたですか。併し邸まではお待合になるほどの道程では無いではありませんか。」

「けれども、その………」

と熱田は、鳥渡言が窮ツた。

「けれども………」と海鹿子爵は、皮肉に追窮して、「何んですか、何んと有仰るのですか。あ、何んと？………」

としつこい。そして白い眼が光る。

熱田は、狼狽えた。容易に此の場を紛らかす言が出て來ない。爲方なしに、

「それは、然うです。直に歸れば可かツたのですが、つい、その何んです。」

「數馬と散歩なさるよりも、此樣な田舍者でも、異性と散歩する方が興味があるですからな。」と思切ツて、手強く謂ツて、「はゝゝゝ、若いうちといふものは、誰にしても甚だ危險な性質を持ツて居るですから。」

と輕く流して了ツた。そのきわどい手際は、さすがに當年政界の濁流に投じて社交に長けた俤が忍ばれるのであツた。

光は、その場を逃出さうかと思ふ位顔が熱くなツた。

此うなツては、熱田は圖々しい。さらぬ躰で、

「そりや異性を好く人もあるか知れんですか、私なぞは、窮屈を感じて可かんです。」

としらぐ〳〵しいものだ。

「然うですかな。」

海鹿子爵は、探偵が罪人の心の底を悟まうとでもするやうに、少時兩人の樣子を見較べてゐた。けれども熱田の頂門へ針を喰はせてからは、幾か心もゆツたりとして、顔の熱も冷める。そこで彼我の躰面をも思ツて、

「いや、熱田さん。人間といふものは、妙なものですての。若いうちは、所謂戀ぢやな。此戀が生命ぢや、何樣な者にでも戀をして貰ひ、また戀をするのを待ツてゐる。ところが、人の親になると、自分の娘の人に戀をしたり戀をされたりするのが恐ろしい。それが、恐ろしく心配でならんですな。早い話がの、私が熱田さんだツたら、矢張光と散歩して、次第に依ツたらからかふても見たい。ところで、私ぢやな。親としての私は、甚だそれを危險に感じますぢや。情は一時ですがの、その結果………無論惡結果ぢやが、それが一生光の身に付纏ふですわい。」

と輕く、何氣なくいふのであツたが、而も何處にか針がある。

熱田の頭は、何時となく低く垂れて了ツた。

その顔を、横から、ぢろりと見て、

「いや、これは、たゞ話ですよ、深く考へられては困るです、はゝゝ。」と出來るだけ快活に謂ツて「何うですな。もう邸へ歸りませう。何もないですが、晩餐でも饗しませう。」

「は、有難う。併し數馬君が………」

「數馬ですか、那はもう、邸へ歸ツて居るでせう。實は、さツきな、逢ツたですよ。」

雜報

●小松海藏君に答ふ
（遼河運河開鑿の議に就て）

遼陽　戸水汪

小松君足下、君の曩に余を遼陽に訪はるゝや、余は「遼河運河開鑿私議」一編を呈して、是正を請ふ、君乃ち本月七日（貴紙百九十九號）紙上に於て反駁を試む、余は君の交誼の敦きに感佩し、幷に謹厚の君にして、又た復た斯語をなす、余に於て痛棒三十杖も啻ならす、爰に答辭を贈りて、友情を重ね、併せて讀者に說く、

滿洲發展に就ての籌謀大計、素より一にして足らす朝野の識者夙に研鑚す、而も枝葉末節に過きす、余の運河開設も滿洲發展の大業に於て、或は枝葉なるならんが、運河開鑿の議は手段のみ、決して滿洲發展根本の大業にあらす

英國の富源をなすものは、鐵と石炭と、以て世界第一の強國たることを首肯するものは、滿洲發展の根本を撫臺、煙臺而して復州等の煤炭に歸せしむる、恐らく何濱の說ならさるへし、以て工業發達すへく、農事改良すへく、曁ひ凡百の事業勃興せしむへし幷に之を海外に輸出して滿洲富源に資することを得る、豈余の呶々を要せんや

而して之を運輸する、或は東清鐵道に因るへく、或は遼河水運に依るへし、東清鐵道の事、已に業に識者の口吻に上り、議は廣軌となすへく、複線となすへし、廣軌も亦た露國的となすへく、京釜式となすへしと、論隲屢々余輩の耳朶を膀くも、未た遼河水運に論を立つる者を見す、爰に於て、余は特に遼河開鑿議を提唱す、余は決して東清鐵道を差措き、獨り遼河水運のみの懸策を立てんや、東清鐵道の陸運と、遼河の水運とは、駢立の問題なり、相容れざるにあらす、之を筑豊炭山の實例に徵するに、直方、若松間に鐵道複線を敷設し、他に運河二筋あり、其運河に石炭運漕の旺盛なる、冠蓋相望み、舳々相接す、毫も他の復線鐵道の運輸を害せす、筑豊炭山にして尙は斯の如し、矧んや數十倍數百倍なる撫臺、煙臺、而して復州炭坑おや、余は陸運と水運とを論せす、要は唯た運輸力の增加して、賃金の低廉なることを望むのみ且つ夫れ、撫台、煙台等の石炭を東清鐵道一線のみに因りて、輸送すれは、彼の鐵道固有の弊實なる獨占事業となり、他に競爭者なきを以て其暴戻殘酷、如何の所爲に出すやも知るへからす、余故に他に運河開鑿を唱道し、東清鐵道獨り壟斷を私せしめざる所以なり

君は又た、余は鐵道改良を夢想せさる如く言迷す、余豈之を知らさらんや、現下の鐵道に改良を加へすも、一日二十回を運轉すと謂ふ（三月二十五日、百八十九號參照）若し之を複線となさは、一日六十回を運轉する出來可らさるにあらす、其の廣軌にして、京釜式に、露國式に改造すれは、知るへし若干の運輸力を增加することを、然れとも凡そ立論の法は、未來の事を想像せす、現在を論據とするは、最も論鋒の確定となす、余豈東淸鐵道の改造を夢寐せさる痴漢ならんや

又た、遼河舟揖の情態に就き、冬期結氷の事を說く、滿洲を策する者、誰か冬期結氷を遠忘するあらん、余も亦た冬期三月乃至四月は運輸すへからさるを知る、余のみならす三尺の童子も知る、故に殊に擺脫す、然れとも、或は憶ふ、遼河直截の月、露のバイガル湖に水上鐵道を敷設するを得へくんは、直流の河川に橇車等を仕用して、舟揖に代用する難きにあらさるへし

君又た釐金稅の事を說く、遼河舟揖八千艘（實際は三万艘已上）の我帝國の日章旗を揭けるものゝ、彼の釐金稅の誅求を免るゝにあるを知らすや、由來釐金稅の如き惡稅は、帝國の威信にて之を撤回せしむへし、若し夫れ馬賊の損害を保險する爲めに、豫め馬賊稅を拂ふを論據とするに至りては、誰か其迂愚を笑はさらん、若し之を論據とすれは、尙は一家を搆成するに、息子の放蕩費をも、盜賊に窃取せらる損害をも、豫算に提出せさるへからす、コハ全く君の杞憂に屬す、余は斷言す、我帝國の威信は、滿洲發展を策するに、此事なきことを、若し千万一にしてあらは、余は責を有司に糾せんとす、君安して迂論をなす勿れ

君は、工事豫算の杜撰を說く、開鑿費一坪一圓となすも止むなくんは、加倍しても可なりとは（三月二十五日）貴紙百八十九號に說く、若し夫れ護岸工事費を遠忘しだるに至りては、一言の救解すへきなし、余は立論者なり、君は實行者なり、最も熟練の專門家なり、專門家の眼孔に映する、余の粗笨取るに足らさるも、而も角を矯めんとして、牛を殺する識なき能はす、君の余說を撤回せしめんとする、思はさる甚しきのみ

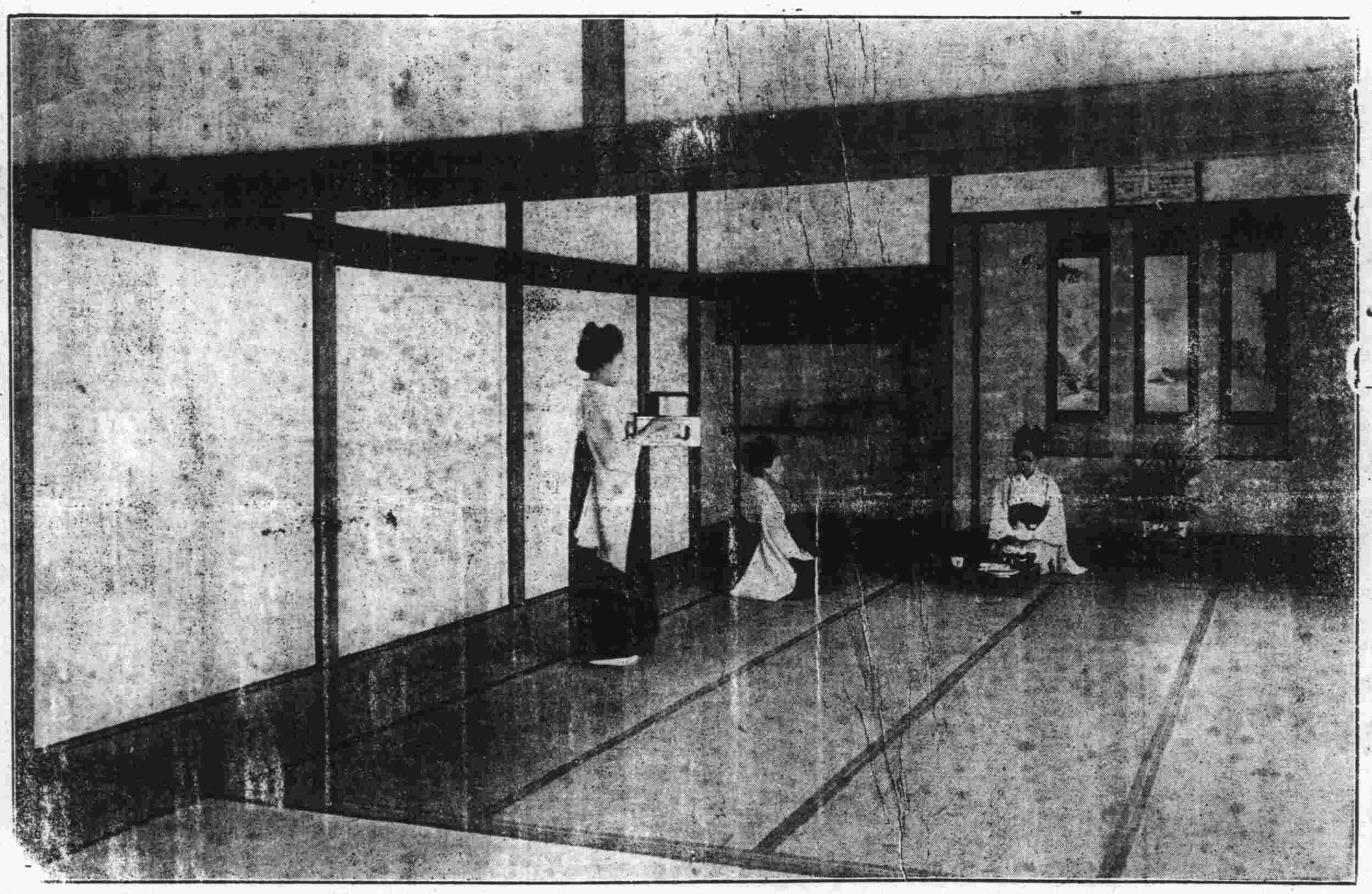
君は、余に向て腰行厨に、鞋穿きにて、實地踏査すへしと、余等の始めて、斯論を立つるや、友人森藤次郎氏と相謀り、氏は專ら實地踏査の任に膺らんことを約し、我か遼陽日本人會は、其費を供給するに議決す、而して去る七日氏は鐵嶺に於て暴かに死去すと、遂に壯圖をなす能はす、幽明の永訣をなす、余と同氏との傭知るへし、噫

終りに蒞みて一言す、君は余を以て、駄法螺の材料となし、一時の戯言となし、嬉酒舍詞兄（安齋君）まてか、附同雷同して、余を冷評す、豈悔恨に堪へんや、余は、今春御題「新年河」に蜂腰一首をものす

あたらしく年むかへてはから國の
遼河の水も直くや流れむ

帝國臣民の、敕題を拜詠す、至誠に出する知るへきのみ、是を以て小松君の再教を請ひ、併せて讀者諸君に訊ふ

日本風俗
女禮式



●遼陽花柳のぞき（一）
発耳子

▲殺風景と無趣味をかねたる滿洲の野も、春には洩れず櫻こそなけれ梅と桃とが咲初めて、妍と麗との花競べ、見渡すかぎり草も樹も芽立ちて見ゆる昨日今日、人の心も陽氣立ち解語の花に戯るにや、花柳の里は一段景氣附きたるやに見ゆ

▲滿洲ホテルといへる堂々たる名に洩れず、一見成程と合點する宏壯な家構へに、一寸溢皮の剝けた式部如來あり、衆生濟度に妙を得て、幾多鼻下長の善男を魔術を以て操縱する怪腕は、何と恐れ入たる次第ならずや

▲其の如來名はスマ子本名は橋田テル芳紀正に二十と一當世ハイカラ式部の摸型を其儘に裝ひて、貴族の令孃然たるも笑止なり、生れは筑紫の熊本市道がハイカラ丈けありて、郷里熊本にある時某女學校に通ひたるも、肝腎な學科は一切無頓斉、ヤレ菫れでござれ星でござれ、果ては戀愛小說は栁浪作が面白いとか、自由結婚ば神聖なりとか、飛もなき方面にハイカラ風を吹かせ、未だ學生たりし時彼所の書生さては此所の車夫と情を通したることも數知れす終に一歩〳〵と墮落の淵に沈み莫連者の群に入りたり、暢氣なる此の生活は風船玉のそれならで、八重の潮路も苦になく渡り、渉り〳〵て遼陽に御輿を据へたるは去年の九月とか、さて遼陽に巢を定めてより、手練手管の修練に漸次熛客を吸收し、鼻毛の長い禽を生捕りて生血を吸ふ其の內に、或る炊事軍曹とやらに大逆上、百度以上の大熱に夢中となりてお惚氣を、聞かさるゝ朋輩こそ迷惑なれ、きぬ〴〵の別れと云ひたいが、今なる喇叭は八時半はなせ軍刀に鏽がのる位の狂言は珍らしくもあらざらん

青堆子途上　考槃野史

水邊楊柳綠　郊外杏花紅
異郷萬里客　黄昏立兒東

遠征雜詩　畢陽

陰々殺氣自西催　未定東洋誰占魁
黄海黒風捲浪立　滿洲白雲覆山來」
時々可歎遠征身　幾向天涯別故人
毎々斷腸殘月景　轉進何處不沾巾」
醉後從來不久交　吟情深契勝同胞
相逢路上雖無事　意寫青山君莫嘲」

菜花　黄雨

菜の花の咲き亂れたる山畑を
わけゆく賤の袖かはるなり

同　孤山

賤の女かゆきゝに袖は香るなり
菜の花つゝく小田のほそみち

同　耕南

とぶ蝶の羽風も今はこゝろせよ
咲くやすゝ菜の盛りなる頃

春郊　紅雨

塘十里柳芽ぐみて日は永し
清き流れに糸垂れてみる

無情　同

籠の中におのが妻戀ひ友を戀い
血に啼く鳥を人見てえらぐ

乙女と鶯　梅の里人

一

氷とけゆく池の面　射す朝日かげ美しう
受けてはころぶ早梅の　きよき香は誰を待つ

二

かすみと共に立つ春を　池の片邊に佇みし
梅咲く宿の花の主　やさしき姫は誰を待つ

三

溪間の雪も消えはてゝ　雲紫に春立ちぬ
去年日契りし若梅の　今日の姿や如何ならむ

四

春の心の長閑さを　野山に見する花の色
其れにもましてはしきやし　姫が姿や如何ならむ

五

峯の嵐に谷の水　思を洗ひ身を淨め
いざや急がむ東方に　梅の下影姫や待つらむ

元神廟街憲甲第二三〇號
宅合名會社支店
當店義都合有之本月限リ閉鎖仕殘務ハ現在店後方左側ノ樓上ニテ取扱候間爰ニ從來ノ恩顧ヲ謝シ此段廣告候也

宅合名會社營口支店閉鎖廣告
清酒　澤龜　印
御愛顧ヲ以テ一昨年來特ニ名聲ヲ博シ候ハ從來ノ特約店ニテ一層勉勵販賣仕候也
西分行貿易部ハ此際擴張仕左ノ名義ヲ以テ老爺閣街同盛德院ニ內テ引續營業仕候間是又一層ノ御眷顧奉願候也
明治三十九年四月廿五日
宅洋行

胃腸病新藥
消化劑
糖化素
医学得業士 矢島氏發見
滿洲特約手販賣 營口大街 東瀛大藥房

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹瀉脚軟心驚婦人懷孕患嘔吐之症熱病稍愈腸胃未至於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓効
發明者日本醫學得業士 矢島猴太郎 識

支那叢書 第壹編 支那政府組織 全
清國の情況を知るは現下の急務なり清國の情況を知らんと欲せば先づ組織の眞相を知らざる可らず老帝國政府の眞相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ
軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ
販賣所 營口重盛街 滿洲日報社

大日本政府特定 營口付紙捲煙草 滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

廣告
當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はず和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す。
建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉
營口元神廟街第百七十二號（電話一七三番）
土木建築請負業 井上公司

萬代不朽毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告
ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり
リサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし
營口元神廟街第百七十二号（電話一七三番）
米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店
井上公司

銘酒 白鶴 諸雜貨
今般新荷着仕候に付ては卸小賣とも是迄の賣直段より壹割引酒及米・鑵詰類は五步引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候　敬具
營口元神廟街 井門洋行 電話一八五
遼陽西門外 仝支店

大日本帝國有名方劑
御化粧品賣藥一切卸小賣
右之品々內地同樣の廉價を以て卸小賣共親切を旨とし萬事御便利を謀り可申候間不拘多少御用命被仰付度奉希上候
電話にて御注文被下候へば直に持參可仕候
大阪谷回春堂滿洲總售處 營口永世街（警務課司法部東隣）三木洋行 同 天大藥房（電話百九十番）

日本有名秘藥物總售廣告
啓者以油婦人及一用香水髮料格外公道價値已從廉比之在日本內地均可大凡各貨即速照章以廣招徠無論零賣整買中外士商賜顧
營口永世街回春堂滿洲總售處警務課司法部東隣可也特此告白
三木洋行 同 天大藥房（電話百九十番）啓

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉（電話一三六番）

發賣 木料 標子 木扱
塩川商會
遼陽小西門內 鹽川商會

外に
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
建築用材北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

關內外盧漢鉄道貨物
一運輸ニ（但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候）
一海關手續（但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱）
一鈔關手續（但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱）
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大清通運公司 營口支店

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）

即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月　日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店 高砂ホテル

和洋御料理 一力
舌代
弊店儀開業以來各位の御引立に預り日增隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め內地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候
樓主 敬白

會席料理 三日月
營口警務課前南に入る

稟告
弊樓儀營業以來日尚淺きにも拘らず各位の御引立に依り益々繁榮仕候段難有奉鳴謝候就ては今般弊樓向側木村旅館を讓受け居室を修繕し料理萬端大に改良を加へ旅館營業仕候間弊樓同樣御引立を蒙り度此段偏に奉希上候敬白
營口永世街五十七號
月　日
三日月樓主

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさず御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候　敬白
營口二本町
祇園閣旅館部 主人（電話一四四番）
各位

マニラ製、エヂプト製紙卷烟草大販賣所（第一市場南側）
當店に於て販賣致候葉卷烟草及紙卷煙草は每二ケ月直接「マニラ」及「エヂプト」より輸入の新荷を以て悉皆引換へ全く新鮮の品より外販賣不致候間一層の御愛顧を給はり度候
尚賣殘りの品は新荷と入替の爲め二ケ月每に競賣に附して賣却可致候
エン、マリホールド

營口旅館料理店案內（いろは順）

料理 **入船亭** 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 **日營ホテル** 河岸通り 店主 井上源吉

料理 **東京館** 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 **東茂旅館** 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 **千□鳥** 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 **沖の島** 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 **吉野亭** 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 料理 **高砂ホテル** **高砂亭** 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 **竹村館** 永世街二十二號 店主 麻田久二（電話五一）

旅館 **大和館** 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 **滿洲樓** 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 **萬梅** 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 **まんなをし** 永世街字二本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋御料理 **公樂園** 南永世街

東京 生蕎麥 一式 **東庵** 元神廟（電話百五十九）

旅館 料理 **金城ホテル** **第二金城ホテル** 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 旅館 **醉花園** **澁谷旅館** 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 **喜樂亭** 營口元神廟街

旅館 **東雲旅館** 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

さるそば **第一更科** 營口元神廟街
さるそば **第二更科** 永世街鶴の湯角

御料理 **柳亭** 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 並ニ温泉 **一力** 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 **松月亭** 營口元神廟街一四三号 住松信大

料理 **都樓** 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案內

旅館 **奉天館** 奉天城內鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話二五）

和洋御料理 **日清倶樂部** 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 **瑞豊館** 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 **天神樓** 奉天小西關大街北側 温泉付大勉強キレーデヲイシヒ（電話 號）

旅館料理店 **日の出樓** 奉天小西門通（元紅葉館跡） 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 **日盛館** 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館 料理店 **梅松館** 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 **大和館** 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 **大正館** 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すべき樣に相成居候間御投宿の節は極便宜に御取扱可申上候
御旅館 料理 **髙砂館本店** 奉天十間房第十五號

旅館料理店 **奉高館** 高砂館支店 奉天城外廿四號 店主 宇本智平

旅館料理店 **日奉館** 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 **東洋館** 奉天大西門外小什字街（電話 號） 主任 藤島初野

御料理 **梅ケ枝** 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館 料理店 **勉強館** 奉天小西關外北長發園隣

高等 御旅館 **茂林館** 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 **日章館** 奉天小西關大什字街南へ入
牛肉すき燒 雞肉 **日章亭**（電話 號）

旅館 料理店 **旭館本店** 奉天小西關
旭館支店 奉天十間房 館主 原田新吉（電話 号）

御旅館 **瀋陽館** 奉天小西門外大街路北

さるそば **更科** 營口支店 奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案內

旅館 料理業 **日營ホテル支店** 主任 林德松

御料理 會席 **菊水館** 主任 朝枝國捷

旅館 西洋料理 **遼陽館** 主任 永瀬宇吉

旅館 料理業 **公陽館** 主任 宮川秀基

御料理 會席 **末廣屋** 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 **凱旋亭** 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 **遼塔ホテル** 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル **遼陽倶樂部** 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 **玉家** 御料理 主任 西野治三郎

御料理 會席 **來々亭** 主任 石田清

和洋 御料理 御旅館 **滿洲ホテル** 遼陽西街西門一七号 上松榮治郎

遼陽城內東街
一和洋御料理 **遼東館**
本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館 御料理 **扶桑館**
奉天大西関大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

奉天小西關新來當街々 御料理本店 **金城館**（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 **金城ホテル**（電話二〇）
營口永世街 御料理支店 **金城館**（電話八三）
營口永世街 御旅館支店 **金城ホテル**
大連市吉野町 御料理支店 **金城館**
大連市吉野町 御旅館支店 **金城館**

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる樣一意相勉め申候
猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとて一言申添置候

和洋 會席 **御料理**
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町 **日本館**（電話百三十）
各位樣

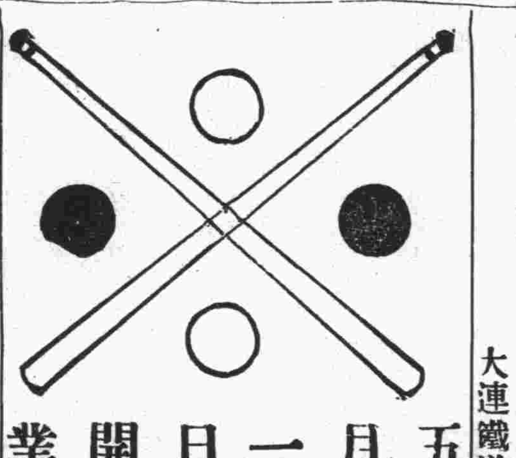
業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉強仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷 并に製本
弊所特色
●印刷鮮明 ●價格低廉 ●叮嚀專一 ●期日正確

營口入口永世街東二本町角
川本活版所

大連 東洋ホテル
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町



五月一日開業
東京新臺到着
今回主人直接東京へ出張無類の好臺を手に入れ參り候間何卒御來遊奉願上候
五月六日玉大競技會
元神廟街 **第二軒**（第三樓の向横町）

官製口付莨、文房具
和洋酒類 白米
罐詰、菓子
藥品、雜貨 卸商
醤油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
⊕ 豐生洋行 營口西北街（電話十三番）

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類 卸小賣
陶器類
食料品類
其外新荷着精々安價販賣
石原商店 營口永世街七十號（第二市場東）

金舛洋行
盛進商行

美味安價西洋料理 **牛莊亭**
營口永世街五十二號鶴の湯東隣

為替相場（四月三十日）
日本向 百〇一圓（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）

日本品最近物價表 加藤洋行
紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 全 七圓五十錢

一狀袋 全 二十枚續 三錢二厘以上四錢
室內裝飾品及寢具 矢野洋行
一滿圓 百枚 十三錢以上十八錢
三枚組 六圓九十錢以上六十五圓

一疊 全 十枚 二圓六十錢以上三圓
一薄樣 八圓
一麻縮通 三圓
一綿縮通 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙